

「10万戸超のビッグデータを滞納対策に活用 手書き業務廃止しデジタル情報蓄積」

トップインタビュー  
アフターコロナの  
賃貸ビジネス

管理人にスマホ支給  
HPの申込5割増

ビレッジハウス・マネジ  
メントの管理戸数は10  
万5166戸(3月末時  
点)と管理戸数ランキン  
グで9位に上った。世界  
の協力を得て、スマホを  
的ファンド、フォートレ  
ス・インベストメント・  
グループ(以下、フォー  
トレス・米国)の日本に  
おける賃貸管理会社だ。  
アフターコロナを見据  
えて同社が力を入れるの  
は、IT活用による管理  
業務の効率化と非対面化  
だ。現場担当者全員にス  
マートフォンを支給し、  
手書き作業を廃止。デジ  
タル対応により、入力  
し直しなどの業務を削減  
している。

岩元龍彦共同最高経営責任者(46・写真左)  
工藤健亮共同最高経営責任者(40・写真右)



ビレッジハウス・マネジ  
メント  
(東京都港区)  
岩元龍彦共同最高経営責任者(46・写真左)  
工藤健亮共同最高経営責任者(40・写真右)

管理業務のIT化で入居率を高めるのがビレッジハウス・マネジメント(東京都港区)だ。スマートフォンによる非対面の業務フローを確立。デジタル化による情報蓄積に注力し、入居者情報のビッグデータを活用した次の一手を打つ。

10万戸超のビッグデータを滞納対策に活用  
手書き業務廃止しデジタル情報蓄積

ビレッジハウス・  
マネジメント

ビレッジハウス・マネジメント(東京都港区)は、スマートフォンによる非対面の業務フローを確立。デジタル化による情報蓄積に注力し、入居者情報のビッグデータを活用した次の一手を打つ。

ビレッジハウス・マネジメント(東京都港区)は、スマートフォンによる非対面の業務フローを確立。デジタル化による情報蓄積に注力し、入居者情報のビッグデータを活用した次の一手を打つ。

ビレッジハウス・マネジメント(東京都港区)は、スマートフォンによる非対面の業務フローを確立。デジタル化による情報蓄積に注力し、入居者情報のビッグデータを活用した次の一手を打つ。

アプリで清掃依頼しコスト削減  
定期清掃に関しては19年夏から、マッチングアプリの『エリクラ』を使い、隙間時間を利用したい主婦などのクラウドワーカーに物件の清掃を依頼するようになった。1棟40戸の平均的な建物で清掃業務を1回30分ほど、月に2回依頼しているという。将来は、マッチングアプリへの登録など仕組みをつくり、入居者に清掃を任せるとして、管理会社と入居者双方にとってウィンウィン関係になれると先を見る。

ビレッジハウス・マネジメント(東京都港区)は、スマートフォンによる非対面の業務フローを確立。デジタル化による情報蓄積に注力し、入居者情報のビッグデータを活用した次の一手を打つ。